

# パオちゃん's EYE

2022年8月1日 発行 No.65

## アオヘリアオゴミムシ



アオヘリアオゴミムシ (雄)、2008年、津山市産。

『怪虫ざんまい 昆虫学者は今日も挙動不審』(小松貴著、2022年、新潮社)を読みました。このコロナ禍を懸命に生きる昆虫学者の努力に心打たれました・・・な〜んていう、まじめな感想は似合わない、熱血昆虫学者の本音だらけ、毒舌満載のエッセイでした。

この本の著者、小松さんが気になるのは、美しいチョウやかっこいい

クワガタなどのメジャー昆虫ではなく、相当マニアックな人でないと名前も聞いたことがない虫ばかりです。中でもその出会いを最もドラマティックに紹介しているのが、体長2cm弱のアオヘリアオゴミムシです。

本の中でも紹介されていますが、この昆虫は「環境省レッドリスト 2020」で絶滅危惧 IA 類という最も絶滅危険度の高いランクに位置付けられています。近年、国内で確認されている産地はわずか数か所にとどまっており、岡山県北部は貴重な生息域のひとつです。写真は2008年に津山市で採集された個体で、頭部と前胸は強い金属光沢をもつ赤緑銅色、上翅は一見黒いのですが、その縁は虫の名前の通り青みがかかった輝きを放つ美しいゴミムシです。「岡山県版レッドデータブック 2020 動物編」でも絶滅危険度の高い絶滅危惧 I 類とされています。詳しい生態はわかりませんが小松さんの本によれば、湿地と雑木林が隣接するような環境が好まれる可能性がありそうです。

奥島雄一(昆虫担当)

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

### 倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央 2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには  
いろいろな情報がいっぱい♪  
「倉敷市立自然史博物館」で  
検索してみよう! パオより

